

令和 9（2027）年度以降（令和 8（2026）年度実施）の
入学者選抜方法の変更について ― 予告 ―

本学工学部において、令和 9 年度以降の入学者選抜を下記のとおり変更します。

記

1. 総合型選抜

次の学科について募集を停止します。

「機械工学科」

次の学科について選抜方法を変更します。

「地球資源システム工学科」：第 2 次選抜における大学入学共通テストの教科・科目

【現行】

国 語（国語）

地歴及び公民（「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、
「公共、倫理」、「公共、政治・経済」から 1）

地理歴史及び公民の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第 1 解答科目の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。

数 学（数学Ⅰ、数学 A）と（数学Ⅱ、数学 B・数学 C）

理科（物理、化学）

外国語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から 1）

情報（情報Ⅰ）

【令和 9 年度以降】

国語（国語）

地歴及び公民（「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、
「公共、倫理」、「公共、政治・経済」から 1）

地理歴史及び公民の科目において、複数科目受験した場合の取扱いについては、受験した科目のうち第 1 解答科目の得点を地理歴史及び公民の得点として採用します。

数学（数学Ⅰ、数学 A）と（数学Ⅱ、数学 B・数学 C）

理科（物理、化学、生物、地学から 2、ただし物理、化学から 1 科目必ず選択）

外国語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から 1）

情報（情報Ⅰ）

2. 学校推薦型選抜

次の学科について大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜を導入します。

(1) 「融合基礎工学科」

(2) 「機械工学科」

(3) 「量子物理工学科」

3. 私費外国人留学生入試（4 月入学）

次の学科について募集を停止します。

(1) 「電気情報工学科」

(2) 「材料工学科」

(3) 「化学工学科」

(4) 「機械工学科」

(5) 「航空宇宙工学科」

(6) 「量子物理工学科」

- (7)「船舶海洋工学科」
- (8)「地球資源システム工学科」
- (9)「土木工学科」

4. 帰国生徒選抜

全学科で募集を停止します。

5. 女子枠入試

次の学科について導入します。

「材料工学科」：総合型選抜により実施

「融合基礎工学科」：総合型選抜により実施

「機械工学科」：学校推薦型選抜により実施

「量子物理工学科」：学校推薦型選抜により実施

6. 一般選抜（後期日程）

募集単位を学科群から学科に変更した上で、次の学科等について募集を停止します。

- (1)「電気情報工学科」
- (2)「材料工学科」
- (3)「融合基礎工学科」
- (4)「機械工学科」
- (5)「航空宇宙工学科」
- (6)「量子物理工学科」
- (7)「船舶海洋工学科」
- (8)「土木工学科」
- (9)「学部一括」

7. 次世代研究者発掘入試

本学において令和9年度から「次世代博士人材育成コース」を設置することにもない、新たに「次世代研究者発掘入試」を次の学科で導入します。

- (1)「電気情報工学科」
- (2)「材料工学科」
- (3)「応用化学科」
- (4)「化学工学科」
- (5)「融合基礎工学科」
- (6)「地球資源システム工学科」

8. 令和9年度の募集人員

別紙1のとおり

●令和9年度以降の募集人員

学 部	学 科 等	入学定員	募集人員											備考
			一般選抜		総合型選抜Ⅰ	総合型選抜Ⅱ			学校推薦型選抜		帰国生徒 選抜	私費外国人 留学生入試	私費外国人 留学生入試	
			前期日程	後期日程	次世代* ¹	一般枠	女子枠	次世代* ²	一般枠	女子枠		(4月入学)	(10月入学)	
工学部	電気情報工学科	153人	I群	118人		10人		(若干名)					(若干名)	
	材料工学科	53人	II群	116人		6人	5人	(若干名)						
	応用化学科	72人			10人	4人		(若干名)				(若干名)	(若干名)	
	化学工学科	38人			5人	2人		(若干名)						
	融合基礎工 学科	物質材料 コース 機械電気 コース	57人			8人	2人	(若干名)	3人			(若干名)		
	機械工学科	135人	III群	162人		8人	2人	(若干名)	3人			(若干名)		
	航空宇宙工学科	29人								7人			(若干名)	
	量子物理工学科	38人				4人				3人				
	船舶海洋工学科	34人				8人								
	地球資源システム工学科	34人	IV群	101人	5人	2人		(若干名)						
	土木工学科	77人				8人							(若干名)	
	建築学科	58人	V群	46人		6人						(若干名)		
	学部一括		VI群	124人										
	合計	778人		667人	20人	(若干名)	66人	9人	(若干名)	6人	10人	(若干名)	(若干名)	

*1 次世代研究者発掘入試Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）を実施

*2 次世代研究者発掘入試Ⅱ（大学入学共通テストを課す）を実施

九州大学工学部における「女子枠」の導入について

1. 社会的背景

(1) 令和2年5月の文部科学省 教育未来創造会議「第一次提言」

本提言の中で、日本における理工系の学部的女子比率は世界的にみて低い水準にあること、及びこれを是正していく必要があることが確認されている。また、女性が理系の分野で活躍していける社会を構築するために、集中的に支援をして徹底的な構造改革を試みる大学を後押しすることが目標のひとつとして掲げられている。

(2) 企業・経済界の要請

企業や経済界においても女性理工系人材を求める動きは大きく、経団連では「博士人材と女性理工系人材の育成・活躍に向けた提言」を行っている。その中で、諸外国と比べ理工系を専攻する女性の少なさ日本の持続的な発展にとって深刻な課題であり、日本企業の方針として女性理工系人材の裾野拡大を急ぐべきとしている。そして、人材の育成・活躍について、教育界・経済界・政府等が連携してそれぞれが役割を果たしていくことが重要であるとしている。

(3) 令和5年度大学入学選抜実施要項（令和4年6月3日付け 4文科高第302号文部科学省高等教育局長通知）

本要項では、一般選抜のほか各大学の判断により入学定員の一部については「多様な背景を持った者を対象とする選抜」などの多様な入試方法を工夫することが望ましいと示されており、対象者の例として、「理工系分野における女子等」と明記されている。

2. 本学工学部における女子学生の割合

内閣府男女共同参画局「共同参画」（2023年10月）によると、我が国の大学における理学部で学ぶ女子の割合は約27.8%、工学部では約15.8%である。これに対し、本学工学部では下表で示されるように約11%に留まっている。

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
工学部学生数	769名	771名	820名	805名
女子学生数	89名	89名	85名	91名
女子学生割合	11.6%	11.5%	10.4%	11.3%

※各年度における5月1日現在の1年次学生数を基に算出

3. 女子枠導入の意義

- (1) 本学において女子枠を導入することは、我が国全体としての理工系学部に入学者女子学生数の引き上げに貢献し、将来的には理工系学生が進む職業労働環境における女性割合の増大に寄与するものと期待できる。

- (2) 女子枠の導入はロールモデルとなる女性増加をもたらし、また現在の女子学生が抱いているようなジェンダー・バイアスを払拭する一助となり、ひいてはジェンダー・バイアスの解消や女性の活躍推進にも繋がることが期待される。
- (3) 女子学生が増えることで多様な視野を取り入れた教育環境が構築される。
- (4) 研究室等で男女の目線や着眼点が交差することにより、双方にとって新たな発見や発想の多様性など相乗効果が期待できる。

以上のことから、本学工学部では令和 9 年度入学者選抜から総合型、学校推薦型選抜における「女子枠」を導入することとする。

4. 求める人材像

本入試の選抜方法等の詳細と共に追って公表予定である。

5. 今後の展望

理工系学部的女子学生の割合増大の取り組みによる理工系学部におけるジェンダーバランス改善への繋がりや科学技術分野における女性の活躍の促進などの状況に応じて、本入試制度を適宜見直す予定である。

6. 導入する学科および問い合わせ先

「女子枠」の導入は、本学工学部において現状で特に女子の比率が低い次の学科において導入する。各学科の問い合わせ先は以下のとおりである。

- (1) 材料工学科：材料工学部門長秘書 E-mail：bumoncho_hisho@zaiko.kyushu-u.ac.jp
- (2) 融合基礎工学科：融合基礎工学科事務室 E-mail：iengnyushi@jimu.kyushu-u.ac.jp
- (3) 機械工学科：機械工学科事務室教務担当 E-mail：kj-kyomu@mech.kyushu-u.ac.jp
- (4) 量子物理工学科：量子物理工学科事務室 E-mail：kosnucl@jimu.kyushu-u.ac.jp